

伊藤 千春 議員

無会派



問 地域文化振興に民間活用を

答 地域と一緒に持続可能な形へ

- 問** 地域文化、伝統行事の現状と課題は。
- 答** **〔市民生活部長〕** 少子高齢化に伴う担い手不足や役員の高齢化など、課題は深刻である。
- 問** 行政、地域団体のみでの運営の限界と課題は。
- 答** 強制参加の価値観が薄れ、地縁による動員も難しい。
- 問** 民間活力活用の意義は。
- 答** 担い手不足や財源確保という課題を解決し、伝統の保存と持続可能な運営を両立させる手段。
- 問** 令和8年度以降の検討状況と期待される効果は。
- 答** 情報収集から始め、導入の進め方を調査研究し、相談体制を整える。
- 問** 今後の地域文化振興の基本的な考え方は。
- 答** 関係人口を増やし、専門性の高い作業を委託することで、本質的な活動に集中できる。

- 問** 市長総括を。
- 答** **〔市長〕** 地域と一緒に、持続可能な形への作り替えを伴走支援していく必要がある。



問 受診率向上の自己負担軽減策を

答 適正な自己負担額設定を

- 問** 本市の検診の実施種別は。
- 答** **〔健康福祉部長〕** 特定健康診査、後期高齢者医療健康診査、胃・肺・大腸・子宮・乳がん等の検診、肝炎ウイルス検査、骨粗しょう症検診。
- 問** 特定健康診査の受診率は。
- 答** 約4割。
- 問** 受診率向上に向けた取組は。
- 答** 対象者に個別通知し、無料クーポン未使用者に再勧奨を行う。ネット予約の導入や集団検診の土日開催など、受診体制を整備する。
- 問** 未受診の市民の意見や要望の認識は。
- 答** 受診に対する意識改革が必要。
- 問** 自己負担軽減策の検討状況は。

- 答** 実施場所や対象者、検査内容を踏まえた設定。
- 問** 受診率向上に向けた周知、改善策は。
- 答** 今後も分かりやすく、受けやすい検診体制の整備に取り組み、適正な自己負担額の設定を考慮しながら、受診率60%を目指す。



▲がん検診の受診方法
(弥富市 HP)

